なかさと

毎月一回 15日
定価 一部 5円
発行所
中里村公民館

現在人口

男	4,202
女	4,346
計	8,548
世帯数	1,708

―村議会報告―

一般会計 補正予算六百三十六万円

議員報酬等の条例改正

今年、初の村議会が去る一月三十一日、午前十時より役場で開かれた。これは、第一回臨時村議会として招集されたもので、会期一日の日程で、昭和四十年度第五回補正予算、議員給与ベア、議員報酬等増額についての条例改正などを慎重審議し午後五時過ぎ散会した。

付議事件の主な内容は次のとおり。

▽一般会計補正予算は、総額六百三十六万円であるが、主なものは、昨年の人事院勧告による、公務員給与改訂にともなう村職員給料等の追加百五十万円のほか、役場庁舎敷地買収費八十三万六千円（百六十七坪）庁用自動車（ジープ）購入費四十八万円、倉俣地区共同防除組合大型防除機（カーペット）一台購入補助事業二十二万八千円、貝野森林組合補助二万五千円、村木炭生産組合製炭用チェンソー四台購入補助事業十二万八千円、村養魚組合補助七万円、清津峡観光魚釣大会負担金三十万九千円、二十四号台風災害復旧倉俣地区頭首工地質ボーリング三百五十万円、同頭首工復旧工事請負費二百九十三万六千円等の追加と、村職員退職者給料等百七十八万円の減額、庁舎建設事業の次年度継続により、今年度工事費減三百六万二千円、公共土木三十九年災害復旧事業二カ所中止による五十九万二千円の減額補正がおこなわれた。なお、今回の補正予算で昭和四十年度一般会計才入才出予算は、総額一億七千五百八十六万五千円となった。

▽国保特別会計補正予算は、職員給与改訂にともなう五万円の追加。

▽農業共済特別会計補正予算は総額百六十九万九千円の追加である。

▽中里村職員給与条例の一部改正は、前記公務員給与改訂にともなうもので、平均九・二%のベアとなった。なお、この改正により役場職員の平均給与額は二万二千三百円となっている。

▽村議会議員の報酬等に関する条例の一部改正は、議長月額八千円を一万三千円に、副議長月額六千円を九千円に、議員月額五千円を七千円に、それぞれ増額したものである。ちなみに中里村の議員報酬は県下九十六町村の中、低い方から十一番目である。

▽農業委員会委員の報酬等に関する条例の一部改正は、会長月額千六百円を二千五百円に、副会長月額千二百円を二千円に、委員月額八百円を千五百円に、それぞれ増額したものである。

なお、村議、農業委員の報酬等の改正条例は四十一年四月一日から施行される。

【写真は今年初の村議会】

日赤社費募集にご協力下さい

中里分区長 高橋幸作

毎度赤十字にご協力を賜りありがたく厚くお礼申し上げます

さて、昭和四十一年度赤十字最重点事業といたしましては、昨年に引続きまして、血液事業の推進であります。中里村分区でも村民の絶大なるご協力のもとにこの事業がこれ等の事業資金は、大部分を直接村民みなさんの社費としての社費負担に依存するものであります。

いまや人類の英智にもとずく科学の進歩により地球は狭くなり宇宙旅行も夢ではないといわれています。それにもかゝわらず人類にはなお人間尊重や国家民族的の信頼感の不足等々精神面の大きな課題が残されています。私は赤十字のみんな兄弟同志という平明な思想から、世界を一つに結ぶ組織をもって人間の苦痛軽減や国際親善など人道的任務を実践する姿こそ、この課題を解決する有力な行き方と考えるものであります。そしてそれは現にあなた方一人一人の身に心に生きているのであります。

村民のみなさん、あなた方が赤十字社員となって応分の社費を負担することは、あなた方が世界の人々と手をつないであなた方の人間としての貴い役割を果されることになるのであります。

今年は村内全世帯の八十%の世帯から社員になってもらわなければならない事情にありますので、何分のご協力を重ねてお願い申し上げます。

中里村保育所・児童館措置児童募集

本年は保育所に措置した外、一部児童館に収容する方針であるため、昨年よりやや緩和されると思いますが施設、設備、距離等の事情から希望者を全面的に収容することは困難（特に三才児において）かと存じます。

皆様の深い理解と協力により適正を期したい と思っていますが、次により昭和四十一年度の募集をいたしますから申請ねがいます。

1、対象児童

四月一日で満三才～五才児まで（昭和三十五年四月二日から三十八年四月一日までに生まれたもの）

2、一ヵ月保育料 生活保護世帯免除

◎前年度の所得が十万円以下の世帯 七百円

◎前年度の所得が十万円以上、二十万円迄の世帯 九百円

◎前年度の所得が二十万円以上三十万円以下の世帯 千百円

但し児童館に措置されるものの世帯は一千百円。

3、申請書〆切 二月二十五日まで。

4、その他

①申請の理由、希望意見、家族の健康状況、両親の稼動状況出稼副業等詳しく記すこと。

②入所通知は三月二十日までとする。

③本申請は、あくまでも希望として申請していただくもので申請されても選考の結果入所を断念していただくこともあります。

④申請書等は田沢小学校区は、各部落婦人会支部長、その他は役場社会厚生課にあります

お知らせ

林業講演会

中里、津南地区林業改良協会の主催で、左記により林業講演会が開かれます。

講師は林業界の大家です。農閑期の半日を、あなたの経営改善のために、先進農家の体験談を聞くこの機会を逃さないでください。

①日時 二月二十四日、午後一時三十分より

②場所 中里村農協一階ホール

③講師 都丸和雄先生（群馬県渋川市金井町）

④演題「農村問題の打開と林業経済」

現代世相の一断面

斉藤大馨

近頃とゆうものか〝敵か味方か〟の考え方が、ます〳〵徹底して来たように思われる。口碑によると男が外に出ると、八人の敵が待っていたそうだが、昨今はみんな敵であると言う。思い当るふしもある。他人の胃袋のなかへ手を突込む時代だから、敵に見えるのも無理はない。

敵だ敵だと目を三角にしている反面、同志のことばがさかんにつかわれている。志を同じうするとの意味だろうが、問題はその志である。相手を匹憐りにするための同志なら、これほど物騒なものはない。

しかも同志、同志と走りまわっているうちに、利害関係がちょっとでも喰いちがうと、同志同士が真ッ二つに割れてケンカをする。これはひとり政党などのことに限らない。おたがい大人の日々の生活を振り返ったら思いあたるフシがそこらにころがっている。

相手を敵視するところには、必ず憎悪がついてまわる。それが親近感をもっておればおるほど、かわいさあまって憎さ百倍の方向さたにもなる。憎悪の正体をつきとめると、広い意味の利害関係以外の何物でもない。幽霊の正体みたり枯尾花は、他人ごとではなく自分自身のみにくい姿である。

食うか食われるかの世の中に敵か味方にわかれざるを得ないという人もあるだろう。しかし力と力で争うのは、ジャングルのなかの猛獣の死闘とかわらない。二つの世界の対立は、西洋思想にはあるが、東洋にはそうした考え方はない。

二つのなかの一つではなく一つのなかの二つの考え方が、東洋思想の底流をなしている。だから色即是空、空即是色で敵か味方かの次元の低い世界には、永くとどまっていない。相手を倒すのでもなければ、自分はかりゾサはるのでもあるまい。ともに生き、ともに生かされるのが真の生活の場である。

食うか食われるかのきびしい世相に、こういう理想の灯をかかげて、一歩々々と行いてゆきたいものと思う。

考えてみると、善玉と悪玉との寄り合い世帯が、ほかならぬ人間そのものである。全部善玉全部悪玉というのはまずない。自分の心のなかの悪玉が残りくまなく照し出されたときには悪玉そのものが善玉にかわる。つまり善玉と悪玉とが仲よく同居している亜流で別居していては人間にはならない。

だから相手を悪玉ときめ込んで〝敵視〟するのは料見が狭すぎる。掃えてみればわが子なりで、第三者から見ると、きめつける方が悪玉の場合がないとはいえない。彼必ずしも聖に非らず、われ必ずしも愚に非らず。ともに凡夫の自覚が必要であるおたがいに煩悩具足の凡夫を自覚したら、敵か味方かで皿相をかえる手はない。敵か味方かでことを運ばうとしたら、流血の惨事は免れない。それでもよいというならお勝手だが、血でか。

〝興正〟したものは、あすはわが身で、また〝興正〟されるにきまっている。人類五千年の歴史が、これを実証している。

敵か味方かの思想ほど危険なものはない。あまりにも機械的で、複雑多岐な人間の精神の構造を理解していない。こういう危険思想がすすんで行ったならば、やがては革命にも発展するであろう。ともに生きともに生かされながら、一歩々々と前進するには、敵か味方かの二元の対立を起えるほかはない。これを超えさせるものは、〝ともにこれ凡夫のみ〟の自覚ではあるまいか。

人生往来

◎産声

子の名	父の名	部落名
江村 宗彦	春夫	山崎
服部 信男	正信	如来寺
千原 弘子	庄平	上山
江口 純子	清信	上山
山本 晴彦	定一	上山
樋口 豊	厚	上山
朴木沢	瀬切	労五郎
鈴木まゆみ	正信	芋沢
鈴木あゆみ	正信	芋川
滝沢 智隆	重重	地
阿部 剛一	男	新屋敷

◎命名

〔新郎〕	麻生 敏夫（さと）	山崎
〔新婦〕	古沢興志子（ふじ）	境玉県
〔新郎〕	村山 春司（はる）十日町	
〔新婦〕	小巻沢クメ（くめ）	通り山
〔新郎〕	富井 重樹（しげき）	東京
〔新婦〕	滝沢 ハマ（はま）	田中
〔新郎〕	鈴木 正平（まさひら）	倉俣
〔新婦〕	阿部ミサホ（みさほ）	高道山
〔新郎〕	山田 茂（しげる）	田代
〔新婦〕	桑原ミヨキ（みよき）	東出尻
〔新郎〕	山田 幸作（こうさく）	宮中
〔新婦〕	村山 フサ（ふさ）十日町	

◎昇天

氏名	年令	住所
広田 トキ（ときえ）		山崎
高野 政子（まさこ）		芋沢
井ノ川伊勢大郎（せたろう）		如来寺

たのしかった 村民娯楽大会

一月二十三日公民館主催で、中里村恒例の新春村民娯楽大会が、田沢小学校家庭室でにぎやかにおこなわれました。

当日は大雪のため、出足が少ないのではないかと心配されましたが、午前十一時過ぎには五十人からの同好者が集まり、囲碁、将棋、百人一首、麻雀の各種目に熱戦がくりひろげられ、今日一日は何事も忘れて、みんな和気あいあい、楽しく過しました。なお、各種目の一位から三位までの入賞者は次のとおりでした。

▽囲碁の部

一位 後藤壬之（千溝）
二位 樋口保太郎（山崎）
三位 柳 栄久（本屋敷）

▽将棋の部

一位 小巻沢富平（通り山）
二位 南雲晴三郎（堀之内）
三位 富井 幸雄（山崎）

▽百人一首（団体戦）

優勝 吉泉ミヨ（山崎）村山勝次（東田沢）田村イシ子（小原）村山長一郎（東田沢）組

▽麻雀の部

一位 大口 一男（上山）
二位 樋口 定敏（山崎）
三位 高野 芳夫（上山）

【写真は熱戦の娯楽大会】

面白い自動除雪屋根

小出藤ノ木鴻海

大雪になって屋根の除雪で苦慨困りの方も多いと思われます。御苦労様です。

ところで、私の部落に有名な万年橋の上方に観音堂があります。去年五月屋根の葺替が決りました。私が責任者なので屋根屋さんと相談して、アンゲルを付けないで木羽屋根の上に亜タンを張り替いました。秋になって雪が降りましたら予想通り屋根の雪は自然に落下します。落下した雪は清津川が自動的に日本海に運んでくれます。条件がよく、こんな場所はあまりないでしょうけれども、今冬から村の人達は一回も屋根に上ることは無用となり、ただ見て喜んでおります。時代が進みまして、これからの建築は土台の下を高く御城式にするか、他を造るか消雪パイプにするか、方法はいくらでもあります。冬期出かせぎの人達も安心して働いてこられる。自然を利用することを考えましょう。

なかさと文芸

―俳句―

おの江

寒月や凍くふくろの声呼えて 一声
劇まねる児に湧く拍手炉端から 大泉
星だけを残して燃え落つ冬の火 春雷
曇ごと孫の書初め気負ひ立つ 桂仙
月光の雪冠る樹々影怪し 梢陽
早春の寒の窓に載せし組糸 玉泉
森の河隅で銀鱗にパス遠し 時習
あら濤の波音しばし冬の月 梅人
病癒えて花の便りの待遠し 閑史
気動車が埋れて行く雪の暮 正乃
早春の耳朶ピンクにパス待つ娘 一枝
冬の陽を待ちて家族の初写し みち
テレビっ子音痴の父の影憂い ユキイ
待たされし応接室に梅匂ふ 悦夫
雪踏みつ暮しまる音に声合はす

離れている家族と手紙を出しあいましょう

中里村青少年問題協議会

中里村では、青少年問題協議会の主唱で「明るい家庭づくり運動」をすすめております。それは、健全な青少年は、健全な家庭から生まれるという考えからです。そして、明るい家庭を作るには、家族全員の意志の疎通と感情の融和をはかり、おたがいに理解し、協力しあうことが、最も大切なことであります。

「明るい家庭づくり運動」の一端として、毎月第三日曜日を家庭の日ときめ、「明るい家庭づくり運動」のキッカケにするよう呼びかけております。

出稼ぎに出ている人、家庭外に住んで職務についている人は毎月第三日曜日に、近況や激励のたよりを出して下さい。また家族の方も同じように、たよりを出して下さい。毎月第三日曜日の夜、おたがいに近況を書く。考えただけでも楽しいことではないでしょうか。

豆まき

貝野小五年　阿部房枝

一月三十日（日曜）

"どうちゃん、かえっちゃった。"

朝起きたら、いろいろの荷物が、ならんでいた。どうちゃんが、東京にまたかえるのだ。もうどうちゃんがいなくてもちっとなれてはいるけど、やっぱりさびしいなあ。

一月三日（木曜）

"節分"

ごはんをたべて、テレビを見ている時、和美が、

「おいが、おにになろかな、だってまめをたべらいるんが。」といった。そんなことをいっているまに、まめがやけた。和美は、じろはたにいって電気を、けしてばあちゃんたちと、まめまきをしていた。かあちゃんはわらっていた。和美は、まめをふくろに、いれてわたしたちの所へもってきてみせた。ばあちゃんがきて、おぼんの中に、まめがはいっているのをもってきて

「ねらには、こいだけたや、ちっとだけどもがまんしてくれやれ。」といった。

ほんとは、まめは、年のかずだけたべるのに、和美は年のかずより多くたべた。わたしも、年のかずより多くたべたけど。わたしの家では、テレビの「ただ今一人。」みたいに、にぎやかな節分じゃなかった。やっぱりどうちゃんがいないせいかもしれない。

出稼ぎの皆さんへ

倉俣中二年　高橋実

出稼ぎに出ているみなさん、元気で働いていますか。みなさんの中の大部分の人はいそがしい農繁期を終らせ、冬の農閑期を利用し、家庭の事情で冬出稼ぎに出るわけですね。私の家でも、実は十一月の中旬から東京の方に働きに行きました。ですから、今家では父と弟しかいません。私は寄宿舎にとまっています。私の家の場合、よその家とはちがい、父親が耳が遠いので父が働きに行くというわけにはいきません。ですから家では母が出稼ぎに行っています。私の家でも事情は色々ありました。誰でも好き好んで東京や大阪、あるいはその他の土地に働きに行く人があるでしょうか。普通の家なら農繁期が終れば、冬の間は、身体休めと、又来る農繁期にそなえて、農具の手入れ、あるいは準備とかなどで過ごすのですが、みなさんは、秋の農繁期が終るか終らぬかのうちに働きにでて、帰ってくれば出稼ぎなどと待っています。なぜこうなったのでしょう。私にはまだわかりません。家で待っている人も共にさびしい、いそがしいめをしなければなりません。全国には、こんな家が、人がまだたくさんあります。

今、さかんに出稼ぎに出た人たちが行ったまま家に帰らないなどというバカな話を、テレビやラジオで聞きます。ですからみなさんも私たちもしんぼうして力強くならなければなりません。そして、こんな困難は乗りきらなければいけません。私が住んでいる所では積雪二・三尺位あります。みなさんが今住んでいる所は雪はふらないでしょうが、まだまだ寒さは続くと思いますが、体にはじゅうぶん気をつけてしっかり働いて下さい。

出稼ぎのお父さんへ

田沢中二年　富井富雄

中里村から出稼ぎにでている皆さん、お元気ですか。お元気で働いていることと思います。

ぼくたち家に残っているものみんな元気に学習したり働いています。お父さんたちの毎日の労働を考えて毎日の家庭の仕事をしています。ぼくたちは、お父さんの留守をしっかりと守って家の仕事を手伝っています。

時々来る出稼ぎ先からのたよりは、お父さんのいない寂しい家に暖かな灯をともし、お父さんの姿を思い浮かばせ、明日への元気をふるい起こしてくれます。夢の中にまで、お父さんのことを思い、時に邪魔に思ったことのある子供でも、冬のさ中になると、父親のありがたさを身にしみて感じます。だからお父さんに負けないように頑張ろうと意気ごんでくるのです。立春を過ぎたとはいえ、これからもまだまだ冬の寒さを感じると思いますが、家族みんなが協力して立派に留守を守りたいと思います。一家の安泰を願うお父さんたちの気持ちを理解してぼくたちも苦しさや寂しさを克服して家族と健康な生活をしてゆこうと思います。

一家を支えての出稼ぎ、ほんとにごくろうさまです。どうか、お体に気をつけてしっかり働いてください。ぼくたちは雪が消えて暖かな春が来るのを、お父さんの元気な姿がぼくたちの眼の前に帰ってくるのを待っております。

近年にない大雪

今冬は近頃にない大雪になった。田沢小学校の積雪計は二月十日現在、二メートル五十センチ。十日町林業試験地の話では、昨年にくらべて約二倍、平年の積雪量は一メートル八十センチとのこと。

今年は、土木出張所のロータリー除雪車が、無雪道路めざして大活躍しているが、まだ〜白魔のカベに挑戦するには力不足。とうとう自動車も止ってしまった。

妻有の衆は、これぐらいの大雪にはそれほどタマゲない、むしろ天の恵みと考えたいのようだが、家屋、樹木、産業交通、機関、子どもの教育等々教えあげたらキリがないほど直接、間接に雪害は大きい。

雪が降るのはどうしようもないことだが、"しかたねえ"とアキラメてしまうのは一昔前の話にして、この豊富な雪を克服し、利用し、積極的に雪に親しみ、生活に役立てるために、

雪ぎらいだろうか。只今のところは、邪魔者である。

【写真は大活躍の除雪車】

医療費と国民健康保険

医学医術の進歩発達は、私たちを病気から守ってくれますがその反面医療費もぐんぐん上っています。

昨年一月から医療費が九・五%値上げされましたが、当然国民健康保険の財政にも大きな影響を来たしています。

ところで、九・五%の値上げを値上げ前の医療費と比較（三十九月四月〜九月、四十年四月〜九月）すると、次のとおりです。三十九年九、三九〇件一六、九四三千円一件当り一、八〇四円一人当り二、四四四円。四十年九、六三七件二四、二七七千円一件当り二、五一九円一人当り三、五五六円。被保険者一人当りの医療費は四三%も増加しています。また、この一件当り及び一人当りの金額は中魚沼郡、十日町市で最高になっています。その上、昨年十一月から薬代の改訂が行なわれ四・五%引下げたことになりましたが医師の技術料が平均三%引上げられ、この影響はもう少し経過を見なければならないとしましても、みなさんが一たび医師の門をくぐると、初診料において引上げ前より一八〇円余計にかかることになり、病気は早期発見、早期治療が必要なことはよく承知のところですが、しかし、かかり方にも問題があるのではないでしょうか。例えば、Aというお医者さんに二、三日かかっても治らないというので、Bというお医者さんに、そして更にCというお医者さんということになると、その都度初診料が必要ということになり、一八〇円の経費増で済むものも五四〇円の経費増ということになり、その結果国保の財政が悪化するとすれば、最後にみなさんの税金を引き上げてもらわなければならないことになる訳です。自分たちの国保は、自分達で大切にしていくためにも

①保険証はいつも手許に置いて正しく使うように。

②同じ病気の治療の途中で、あちこちの医師にかかるずに、よくお医者さんを選びましょう。

③お医者さんに薬ねだりをしないようにしましょう。

④早期受診も大切ですが、日頃健康に注意しましょう。

⑤保険だからかからなければ損だなどと思っていると、めぐゆくは税金にはねかえってくいことをよく考えましょう。

八郎潟入植者募集!!

八郎潟中央干拓地で将来、日本農業のモデルになるような、生産性および所得水準の高い農業経営を確立し得る、優秀な資質と熱意のある入植希望者を、次のような条件で全国から募集しています。

（一）入植者は原則として、次の①から⑥までに掲げる要件をすべて満たす者であること。

①八郎潟新農村建設事業の意義を十分に理解し、八郎潟新農村建設事業団法第二十条一項の基本計画に示された方針に沿い旺盛な営農意欲をもって自立経営または、生産性および所得水準の高い協業経営を確立しようとする者であること。

②入植（八郎潟中央干拓予定地に移住して耕作を開始することをいう。以下同じ）に先だつ一年間の訓練により、機械化直播等新しい農業経営に必要な知識及び技能を習得し得る能力を有するものであること。

③年令は入植時において二十才以上四十才未満にして、身体強健で、営農の経験が十分な者にあっては、四十五才未満で機械使用を中心とする強度の労働に耐え得る体力を有する者であること。

④営農に従事できる労働力として能力換算一・八人を保有する世帯構成のものであること、ただし入植時までにその世帯の保有する労働が能力換算一・八人以上となることが確実に見込まれる者、または農業生産法人等による協業経営を希望する者にあっては、その世帯の保有する労働力が能力換算一・〇人以上であれば一・八人未満でも差し支えないものとする。

⑤入植後の営農について、八郎潟新農村建設事業団等の指導のもとに、相互に協力し、とくに水利用、作付協定、機械共同利用等に関して十分協調しうる者であること。

⑥農行資金として、入植後の営農に重圧を及ぼすおそれのある負債の額を控除し、一年間の訓練期間および入植初年目の生計費ならびに営農計画に基づく入植初年目の出来秋までの営農用資材（種子、肥料、薬剤、諸材料、動力用燃料等）の調達および所要の資料（薬剤散布等のための航空機利用等）の支払に要する金額に相当する資金を携行できる者であること。

なお以上の①から⑥までの条件が同等と判定された者の間では、次に掲げる要件をそなえる者を優先とするものとする。

①農業に従事し、または農業に関する教育訓練を受けた経験のあること。

②一組の夫婦を中心とする家族構成であること。

③耕地を所有する者にあっては干拓地の所有権を取得する時までに、所有耕地を所在市町村の農業構造の改善に資するよう処分することが確実に見込まれること。詳細については中里村役場産業課に問合せ下さい。

台風災害復旧

倉俣地区の工事進む

昨年の二十四号台風による災害は、国の激甚災害法の対象になっているが、中里村においても十二月末までに査済の事業は、農地、農業用施設復旧事業、災害関連事業など五十ヵ所総額四億三千万円の巨額にのぼり、この大部分は倉俣地区であるが、四十一年から四十三年までの間に、村が事業主体となって実施されることになっている。清津川水系の河川も大被害をうけたが、これは県営工事として冬の渇水期をねらって、今急ピッチで工業が進んでいる。

今冬は、清津川、釜川、稲荷川など九ヵ所、総額五千三百万円の事業費で、主として堤防護岸工事。一面、大雪原となっている清津の河原に連日ブルドーザーのエンジンが、カンカンひびいている。【写真は芋川部内工業現場】

調停のはなし (1)

❶調停とは

金をかしたが返してくれない。貸した家を明け渡してくれない。自動車にはねられてけがをしたから治療代がほしい。親子や夫婦の間がうまく行かない……こうした、いろ〜〜の争いや請求は、訴をおこして裁判を受ければいいのですが、裁判の手続には、いろいろむずかしい規則があって、法律知識が必要ですし、費用や時間がかゝります。そのうえ、法廷へ出て争うことも、親せき間や昔なじみの間がらでは、はばかられることもありましょう。このような場合、手がるに早く、話し合い調り合って、解決をあたえてくれるのが調停です。調停も裁判所の公正な手続きでありますから、法律的なむずかしいことはないし、また、公開の法廷でなく、裁判官と調停委員と膝つき合せて話しあい、納得ずくで解決するのですから、いやな後あじも残らないし、法律論では片づかない妙味も出せるというわけです。

❷調停の種類

調停には、現在次のようなものがあり、それぞれの扱う裁判所が決っています。

1、宅地建物調停

宅地や家屋の貸し借りなどに関するもめごとを解決するもので、簡易裁判所で扱っています。

2、農事調停

小作関係や農地に関係あるもめごとを解決するもので、地方裁判所または、当事者が合意で定める簡易裁判所で扱っています。

3、商事調停

売掛代金、その他商事上のもめごとを解決するもので、簡易裁判所で扱っています。

4、鉱害調停

鉱害のために生じたもめごとを解決するもので、地方裁判所で扱っています。

5、一般調停

—から4までのどれにもあてはまらない、すべての民事上のもめごとを解決するもので、簡易裁判所で扱っています。

6、家事調停

身分関係上のもめごとや、家族親族間の争いを解決するもので、家庭裁判所で扱っています。

（十日町地区調停協会）

——以下次号——